

解剖学・生体構造科学

《解剖学・生体構造科学講座》

担当教授



市村 浩一郎

スタッフ

- 《准教授》 工藤宏幸
- 《助教》 加藤公太
- 《助手》 姉帯飛高



▶ 主な研究テーマ

- ① FIB-SEM による組織細胞の 3D 超微形態解析
- ② 多細胞動物における排泄器の進化形態学
- ③ 解剖体を活用したマクロ解剖学研究

▶ 主な研究内容

ポドサイト障害の形態変化の全過程を明らかに

—ポドサイトの形は“足裏”を見ると良く分かる—

最近、私どもの研究グループは、複雑な突起構造をもつ糸球体足細胞（ポドサイト）が腎疾患の際に突起構造を消失させる現象（突起消失）の全過程を明らかにしました。本研究では、FIB-SEM という電子顕微鏡で撮影した糸球体足細胞の連続断面像から高精細な立体再構築像を作製することにより、従来見えなかった足裏方向からの観察を可能とし、突起消失過程に 2 つの形態変化の様式があることを発見しました。この成果により、糸球体疾患の病理診断における FIB-SEM の有用性が示されました。本研究は米国腎臓学会の学術誌 *Journal of the American Society of Nephrology (JASN)* の 2019 年 1 月号に掲載されました。

